明治大学理工学部・理工学研究科　イブニングセミナー

「将来に求められる原子力の安全とエネルギーを考えるシンポジウム」

【主　　催】明治大学理工学部・理工学研究科、新領域創造専攻安全学系
【開催日時】2011 年 12 月 3 日（土）
15 時 00 分（14 時 45 分開場）～19 時 00 分
【開催場所】明治大学駿河台キャンパス、リバティタワー 1 階 1011
http://www.meiji.ac.jp/koho/campus_guide/suruga/campus.html

【開催主旨】

2011 年 3 月 11 日に発生した、東北地方太平洋沖地震と、それに伴う大津波は、多くの人命を奪い、さらに東京電力福島第一原子力発電所に、長時間にわたる全電源喪失をもたらした。その結果、原子炉と使用済み燃料プールの冷却機能が失われたことにより、多くの燃料が損傷し、多量の放射性物質が環境中に放出され、周辺住民を始めとする多くの人々に甚大な被害を与える事態となった。地震と津波による原子力発電所の停止と再稼働延期の影響は大きく、今夏は電気事業法に基づく電力使用制限令が 37 年ぶりに発令された。電力の需要は、産業と人々の生活に密接に関連しており、供給電源の安全性と信頼性について、広く国民の関心の惹くところとなっている。今回、明治大学理工学部・理工学研究科において、エネルギーに関する関心と理解を深めるため、我国の原子力の安全とエネルギーの将来を考えるシンポジウムを開催します。以下の通りご案内致しますので、関心ある皆様のご参加をお待ち申し上げます。

---------- プログラム ----------

【開会挨拶】15:00～15:10
明治大学理事長　長堀守弘
【講演Ⅰ】15:10～15:50
安全設計の思想
明治大学理工学研究科教授、明治大学校友会会長　向殿政男
【講演Ⅱ】15:55～16:35
福島第一原子力発電所事故－分析と教訓
北海道大学大学院工学研究院　教授　奈良林 直
【講演Ⅲ】16:40～17:20
福島第一原子力発電所事故－遠因、設計の経年劣化、規制制度
法政大学大学院　客員教授　宮野 廣
【講演Ⅳ】17:25～18:05
次世代原子力に求められる安全とエネルギー
明治大学理工学部　客員教授　森 治嗣
【講演Ⅴ】18:10～18:50
ラドン熱気浴利用の 5 年間の実際　－放射線の効用
元原子力委員会委員　竹内哲夫
【閉会挨拶】18:50～19:00
明治大学理工学研究科教授、明治大学校友会会長　向殿政男

◆参加費：無料　　定員：200 名
◆申込み方法：
下記申込みフォーマットに必要事項をご記入の上、電子メールにて申込み下さい。
申込み締め切り：平成 23 年 11 月 25 日（金）
申込み専用アドレス：meijisss@meiji.ac.jp〔申込み以外には使用しないで下さい〕

「**将来に求められる原子力の安全とエネルギーを考えるシンポジウム〔平成 23 年 12 月 3 日〕**」申込み
・ご氏名（フルネームで漢字）：　　（ふりがな：　　）
・ご所属、肩書き（元職も適宜）
・ご連絡先住所：〒
・ご連絡先電話番号
・メールアドレス：